

【参考】＜日米貿易協定とTPP11に伴う農畜産物の生産額への影響（帯広市）＞

種 別		生産額 (百万円)	生産量 (t)	減少額 (百万円)	減少率 (%)	備 考	＜参考＞北海道	
							減少額 (百万円)	
耕種	小麦	1,918	34,273	267	13.9%	・全て競合するものとして算出	約4,200	
	豆類 (小豆) (いんげん) 小計	1,103	3,427	0	0.0%	・いずれも競合せず、影響はないと想定	0	
		129	524	0	0.0%		0	
		1,232	3,951	0	0.0%		0	
	でん粉原料作物	1,856	14,172	4	0.2%	・価格調整制度対象外の片栗粉用等が競合するものとして算出（なお、TPP11参加国からの輸入実績はなし）	約50	
	砂糖	7,547	37,363	265	3.5%	・競合はしないものの、加糖調製品等の関税割当設定等による価格下落により減少するものとして算出	約4,400	
	米（道のみ）						0	
加工用トマト（道のみ）						0		
りんご（道のみ）						0（約6～約11）		
計		12,553		536	4.3%		約8,650	
畜産	牛乳乳製品	4,516	46,524	224 ～ 335	5.0% ～ 7.4%	・牛乳乳製品の各品目（チーズ、バター・脱脂粉乳等、生クリーム等）については、北海道の比率で算出 ・飲用牛乳を含む全生産量及び生産額については市独自の調査によるもの	約16,800	～ 約25,000
	牛肉	2,231	1,247	130 ～ 260	5.8% ～ 11.7%	・生産量は出荷頭数に枝肉換算430kg/頭、部分肉換算率70%で算出 ・道内格付（肉質等級）の割合で競合するものと、競合しないものとで按分し、それぞれが一定程度下落するものとして算出	約6,700	～ 約13,400
	豚肉	560	775	17 ～ 33	3.0% ～ 5.9%	・生産量は出荷頭数に枝肉換算73kg/頭、部分肉換算率70%で算出 ・銘柄豚はいないため、全て競合するものとして算出	約1,000	～ 約2,100
	鶏卵	13	57	0 ～ 0	0.0% ～ 0.0%	・減少額は百万円未満	約100	～ 約200
	鶏肉（道のみ）						約100	～ 約200
計		7,320		371 ～ 628	5.1% ～ 8.6%		約24,700	～ 約40,900
合計		19,873		907 ～ 1,164	4.6% ～ 5.9%		約33,400	～ 約49,600

＜主な算出方法＞

- 北海道の算出方法、単価（「牛乳乳製品」を除く）などに即し、個別品目ごとに合意内容の最終年における農畜産物の生産額への影響を試算。
- 品目ごとに輸入品と競合する部分と競合しない部分に二分し、それぞれの影響について算出。

\* 対象とした農畜産物は、北海道が試算した13品目とした。

\* 生産量は、市のH28年～H30年の平均、生産額（「牛乳乳製品」以外）は北海道と同じ単価で算出、「牛乳乳製品」は市独自の調査によるもの。